

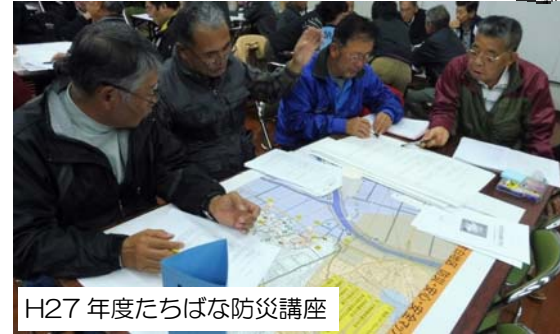
安全安心部会

橋町の安全安心 を目指して

町民皆さんの安全安心を確保するため「安全安心部会」を組織し議論をしてきました。これまで橋町内では大雨で一部地域での家屋の浸水被害はあるものの人命に係るような大災害は幸いにも起こっておらず自分の所だけは大丈夫だと、災害について意識が薄いのではと感じられます。その為橋町まちづくり推進協議会では、住民の皆さんの意識高揚を図り、防災計画の趣旨を徹底するため、各集落ごとに危険箇所の点検や現状の把握、避難場所や避難経路等を示したマップづくりや防災計画の作成を行ってきました。また武雄市総合防災訓練に参加し避難訓練を計画したところです。

今後はせっかく作った計画を積極的に活用するため、各集落においては訓練を毎年反復して行うことにより、被害を最小限に抑えることが重要だと考えております。各個人が自分のところだけは絶対に災害は起きないといった意識をなくし、いつ起こるかも分からない災害に備えておくことが必要です。

事業報告



H27年度たちばな防災講座

生活環境部会

マイエンザ普及促進

生活環境部会では、マイエンザの普及推進に努めているところです。4月にマイエンザの開発者曾我部義明さんをお招きし、「マイエンザで町おこし」という演題で第2回目のまちづくり講演会が開催されました。生活環境部会では、市民配布用として婦人会の協力によりマイエンザ500リットルを3回/年に作り、配布してるところです。いろいろな場面に使うことができます。トイレ・台所・お風呂・洗濯・家庭菜園などで使うと、川底の汚泥が分解されたり、下水路や河川の水質も改善されるようです。家庭でも簡単に作れます。グループ・地区で作られる時はご指導に出向かれますので、鈴山さんまでご連絡ください。



産業振興部会

さがびよりオーナー事業

農業・地域ブランド米の振興策として、シンガポール富裕層に田のオーナーになっていただき、来日して「さがびより」田植え収穫の体験等により、市行政と当部会が連携した観光・販売促進PR事業に取り組んでいます。熊本地震の発生により、田植え体験イベントは中止しましたが、耕作者の熱心な栽培管理で順調に生育しており、収穫時には、オーナーが来日しての収穫体験と、隣接ほ場では幼稚園児の体験学習を同時開催の予定です。



青少年育成部会

周防大島交流団派遣事業

橋町は、山口県周防大島町(旧橋町)と同じ町名が縁で、平成15年度から地域間交流を行っています。平成24年度からは「地域の将来を担う子供達の育成は、町としての課題の一つである」との考えをもとに、橋町まちづくり推進協議会の単独事業として取り組んでいます。周防大島への派遣により、現地小学生と地域の人々とふれあい、様々な体験活動を通し、精神的な向上と広い視野の育成を図っています。橋町の今後の事を考える良い機会になり、役立ててくれるものと確信しております。



編集後記

皆さん、第1号「橋だより」いかがだったでしょうか？ 鳥越部会長はじめ、7人の会員で楽しく試行錯誤しながら仕上がりました。橋だよりを作成するにあたり、さまざまな方にご協力頂き、本当にありがとうございました。次回、第2号を作成する際には皆様に協力をお願いをする事になるかと思いますが、よろしくお願い致します。どうぞ、次号を楽しみに！ (M・J)



橋だより



橋公民館(落成 H28.3)

「橋町まちづくり広報誌」創刊号の発行について

これまで多くの町民の方々から、橋町まちづくり推進協議会の活動状況がなかなか伝わらないとの声を耳にしておりますが、「公民館報たちばな」は、行政広報誌の範ちゅうにあり、「まちづくり」の実情については、さして報道されておられません。また、橋町のホームページも同様であります。このような状況下に於いては町民からのご不満の声も納得せざるを得ません。

そこで、町民の要望に応えるべくこの度、広報公聴部会から「橋だより」を発行することとなりました。編集内容については橋町の広報、及びまちづくり推進協議会の組織内の11部会の活動状況等をお知らせします。また、皆様方からの建設的なご意見を公聴して、審議後の結論を必ず返答する所存であります。広くご意見を求めると共に、積極的な広報資料の提供を併せてお願いしつつ、創刊号発行に際してのご挨拶と致します。



平成28年10月 1日
橋町まちづくり推進協議会会長 山崎 定嘉

平成28年度 組織図

